アミーゴ通信

2015 年 3 月　梅蕾号

《特集》

アミーゴ施設だより　その２
～学童クラブ編（６施設）～

前号に引き続き、アミーゴが運営する施設からの声をお届けします。
今回は、子どもたちが放課後に過ごす学童クラブより、職員の皆さんに記事を書いていただきました。日頃、子どもたちが指導員とともに、どのような時間を過ごしているのか、その一端を覗いてみてください。

《施設だより　学童クラブ編》

北原学童クラブ

北原学童クラブの最も大きな特徴を一つあげるとすれば、それは『保護者の方々がとても協力的』という言葉に尽きます。定期的に行われる共催行事での協力もさることながら、年末におこなわれた父母会主催の忘年会では、映像関係の仕事をしている保護者の方が、なんと北原学童の一年をまとめた DVD を作成、披露してくれ、子どもも大人も大いに盛り上がりました。

加えて明けた新年には、こちらも父母会が主催で、『物見山・高指山・日和田山ハイキング』という登山行事が開催され、総勢 48 名が参加し、大盛況の一日となりました。埼玉県西部、奥武蔵にある三山を、子どもと大人が力を合わせて登りきり、最後は山の中腹にある神社で初詣をする。48 名が全員で山道を登る姿は圧巻で、そして山々の頂上からの眺めは絶景で、目的地に着いた時、みんな疲れていたとは思いますが、それぞれが本当にいい表情を見せていました。山道をハイキングするといった行事は、危険も伴うため、保護者の方々の大きな協力がなければ絶対に開催することはできません。ハイキングの閉会式で、担当のお父さんがこう言ってくれました。「このような行事をやっているのは、私の知っている限り北原学童だけ。だからこそ大変であっても大事にしていきたい」と。

子どもを真ん中に、指導員と保護者の方々がしっかりと手繋ぎしながら、北原学童クラブはこれからも頑張っていきます。今年一年、どうぞよろしくお願いします。　（堅田　雄介）

物見山山頂で

＊北原学童クラブ＊

〒188-0003
北原町 1-16-2 号
TEL 042-451-2020

《施設だより　学童クラブ編》

向台学童クラブ

なかまとネコバスに乗って！　大空へ！

～一人ひとりのぼうけんの旅へ～

向台学童クラブは現在 60 名の元気な子ども達が在籍しています。育成室では「カイセンドーン」と大きな声が響き渡り、大好きなＳケンで盛り上がり、大学落し、ベーゴマなどの遊びも大人気です。またロータリーでは一輪車や鬼ごっこ、自然いっぱいの庭ではサッカー、野球などをして遊んでいます。時にはけんかをして涙を流す事もあるけれど、昼間の兄弟として支え合いそして笑い合いながら楽しく過ごしています。

〈おたよりと写真紹介〉

◎今年度の保育年間テーマにそって、向台の屋上からみんなで夢をバルーンに乗せて**大空へ**飛ばした時の様子と歴代の四年生たちが受け継いできた向台のシンボル**ネコバス**に長年の夢だったライトアップが叶った瞬間の様子です。

アミーゴ 向台ネコバス号 ～大空へ～

みんなの夢をのせて大空へ…。

6/7(土)共催行事で行う予定であったバルーンセレモニーを6/20(金)の16時～行いました。全員で屋上へ上がると初体験の1年生は「うわぁ～すごーい」「おっこちないかなー」「屋根より高いね」「ぼくのお家どっちかなー」とドキドキ。そして4年生から一人ひとりに「まだぜったいに離しちゃダメだよ」「しっかりちゃんとギュッとにぎるんだよ」と風船を手渡されて…またまたドキドキ。

いよいよ!! わくわく。。

全員でカウントのかけ声が5・4・3…2・1『夢を乗せて大空へ出発～』。風船が飛んだ瞬間、子ども達全員が空を見上げて「うわぁ～」と大歓声。グングン空へ上がっていく風船に手を振ったり「いってらっしゃーい」と声をかけていました。一人ひとりの夢がつまった風船がわくわく・ドキドキのぼうけんの旅へ出発しました。自分の願いを必死な思いで風船に託し、大空へ飛んでいく風船を見送る姿はまるで自分達が大空へ飛んでいるようでした(笑)

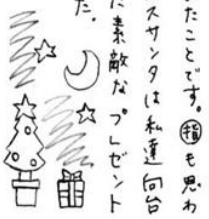
アミーゴ 向台ネコバス号 ～大空へ～

ネコバス点灯式

4年生と指導員の長年の夢であった『ネコバスの目を光らせたぁーい』がついに12/24(木)クリスマスイヴの日に指ソゥう君と4年生の北岡ももちゃん・ゆいなちゃんの手によって叶いました。冷たい風が吹く寒い大空の下で作業を終えたももちゃんとゆいなちゃん、「がんばったよー」と笑顔で育成室に戻ってきた二人の顔は誇らし気でした。

いざ点灯

暗くなるのを待ってから点灯式を行いました。みんなでカウント5秒前「5・4・3・2・1」と声を掛けスイッチオン。真っ暗な庭でネコバスの目がピカーと光り、その瞬間大歓声。「すごーい。すごーい。」と拍手喝采。さらに感動したのが3年生の米澤ももちゃんが「やったー。やったー。」と言いながら嬉しさのあまり涙を流していたことです。指も思わずウルウル～。ネコバスサンタは私達向台に心温まる最高に素敵なプレゼントを届けてくれました。



向台のなかまのモルモット

るるとしずき

✿ これからも向台はあたたかい保護者の方々や地域の方々に支えられながら、そしてたくさんのなかまと共に…
ぼうけんの旅は（まだまだ）続く…。

（高橋 明子・草苅 龍・片岡 美慧）　～向台学童クラブ～

《施設だより　学童クラブ編》

向台第二学童クラブ

昨年末は、近隣にあいさつまわりに行ってきました

学童ではいつも子どもたちに、「みんながこうしてここで安心して楽しく生活できるのは、地域の人たちが君たちのことをいつも見守ってくれているからだよ。そして、この学童の周りに住んでいる人たち、お隣の家の人や川向こうのお家の人たちなどが温かい目でいつも君たちのことを見守ってくれているからだよね。」と話をしています。

隣の家の庭にボールが飛んで入ってしまうと、投げ返してくれたり、いつも元気だねと声をかけてくれたりしてもらっています。本当に嬉しいことです。

そうやって応援してもらい、お世話になっている近隣の方のお家へ手作りのプレゼントに子どもたちが書いたメッセージカードを添え、学童を代表して４年生の子どもたちと一緒に挨拶まわりに行ってきました。４年生は、「行ってらっしゃい。」と１・２・３年生に見送られ「行ってきます。」と笑顔で出かけていきました。いざ家の前に立ちインターホンを鳴らす時になると、「誰が押すの？ 誰が言うの？」などと言い合って子どもたちのドキドキが伝わってきました。「ピンポン～…。学童クラブです。」というと、ガチャとドアが開きます。「こんにちは。学童クラブです、いつもお世話になっています。」と少し照れながらも挨拶をしプレゼントを渡すと、「まぁ、いつもありがとうね！みんなが作ったの？ありがとうね。」と温かい言葉をかけてもらい、子どもたちも嬉しそうでした。地域の皆さん、これからもよろしくお願いします。

雑巾がけ鬼ごっこ

「明日は学級閉鎖の所があって朝８時～学童だから、夕方早めに片づけをしてみんなでお掃除しない？」と子どもたちに提案すると「いいよ。」と快く了解してくれました。

そして、畳の部屋に掃除機をかける人、フローリングにモップをかける人にわかれて掃除が始まりました。子どもたちはてきぱきと動きいつになく楽しそうです。誰かが、「これ終わったら雑巾がけするぞ～。」と叫ぶと、「うん、やるやる…。」とみんな大賛成。雑巾を取りに行き、「はい、一列に並んで。」と雑巾がけが始まりました。何度も何度も繰り返して行っているうちに「雑巾がけ競争」となり、次に「雑巾がけ鬼ごっこ」となっていました。「雑巾がけ鬼ごっこ」は、雑巾がけをしながら追いかけ合うので普通の鬼ごっこより辛そうです。子どもたちは「ハアハア」と息を切らしながらも、笑いがいっぱいでした。こうやって遊びに変えて楽しんでしまう子どもたちの力ってすごいですね。もちろん部屋はきれいになり、床はピカピカになりましたよ。

（大和 美恵子・森田 祥子・小野 智行）

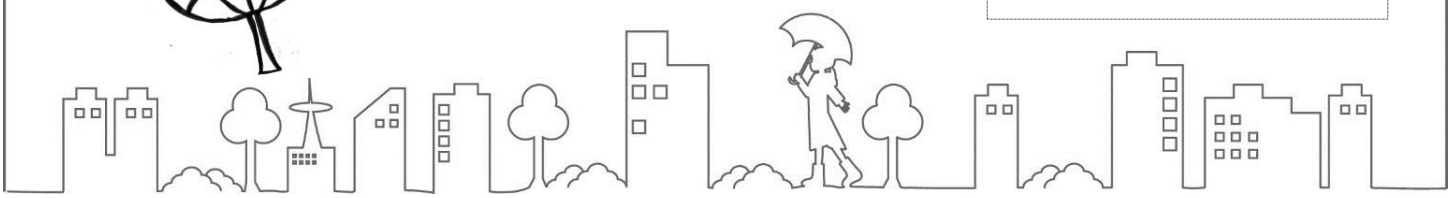
年間テーマ：
祭でつながるみんなのＷＡ！

＊向台学童クラブ＊

〒188-0013
向台町 3-1-45
TEL 042-463-01230

＊向台第二学童クラブ＊

〒188-0013
向台町 3-1-45
TEL 042-464-2600



《施設だより　学童クラブ編》

谷戸学童クラブ

谷戸学童クラブは小学校の中でもなく、児童館も併設されていない『単設学童クラブ』です。施設の中は学童の子どもたちだけなので、一軒の家の様なアットホームな雰囲気です。アミーゴに委託された初年度から子ども達に大人気の『ベーゴマ』。女の子を中心に一気に盛り上がった『けん玉ダンス』などの伝承遊びが根付いているのが特徴です。

子どもたちは学童クラブに帰って来ると身体を使って遊べるホール、ままごとやブロックが出来る和室、宿題や机でやるゲームが出来る育成室と、自分のやりたい遊びが出来る部屋に行きます。

ホールでは大人気のメチャドッチや大学落とし、大縄跳び等で遊びます。男女も学年も関係なく混ざって遊べる場になっているので、ここでの遊びで他学年の仲間や、あまり一緒に遊んだ事がない仲間と関わるきっかけになったりします。そしてホール遊びの一番の特徴は、遊ぶ前に皆でやる『体操』です。皆の前に立って体操をしてくれるのは４年生。指導員の出番はありません。大きな声で『いち！ に！ さん！ し！』と４年生。『に！ に！ さん！ し！』とそれに続く１～３年生。前に出る４年生の姿を見て、『次は自分達が…！』と燃えている３年生です。４年生がいない時は喜んで代理を引き受けてくれます。

和室の遊びは曜日によってままごとの日とブロックの日があります。ままごと（最近はお家ごっこというらしいです）は部屋がいっぱいになる程プレイマットで作った家が出来上がり、色々な店が開店します。病院や食べ物屋さん。ちょっと変わったものだと漫画喫茶や釣堀りが開店した事もあります。また、ラキューというブロックが男の子だけではなく、女の子にも大人気。車やバイクはもちろん、買い物カゴやドレスを着た女の子等、様々な作品が作られます。完成した作品は写真撮影をして、コンテストを開く予定です。

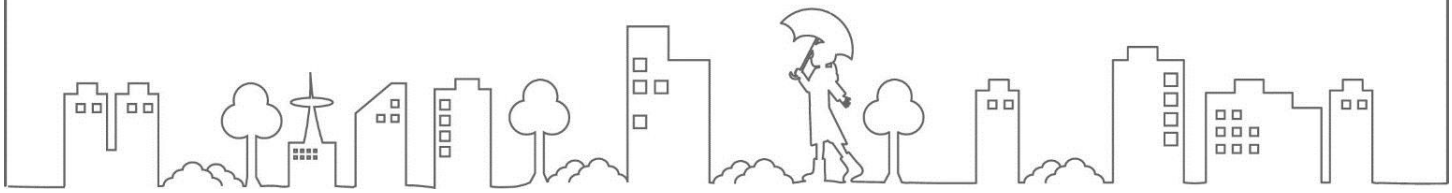
１階の育成室は机でやれる遊びをするスペース。学校や塾の宿題をやる子もいます。３・４年生になると学童に帰って来てから帰る時間までの時間を上手に使って、「この時間までは宿題をやって、その後はこの遊びをしよう…」と、時計を見ながら動いています。もちろん、やりたい遊びが我慢できずに飛んで行ってしまう子もいます。家で約束をして学童で済ませるという子もいますが、学童で宿題をやっている上級生や仲の良い友達がやっているから自分も…とやる子もいます。こういった姿は学童クラブならではでしょう。

そんな谷戸学童クラブですが、近年は大幅な子どもの数の増加でどの部屋もいっぱいです。それでも子ども達はおもちゃや場所を譲り合ったり、ルールをしっかり守ったりと、上手に遊んで過ごしています。そんな子ども達の為にも、どうやったらもっと面白い・楽しい事が出来るのかと、私達職員は日々考えています。しばらくは子どもの数の増加傾向が続くと予想されますが、学童クラブが子どもたちにとって安全で楽しく過ごせる場所になる様に、職員一丸となって取り組んでいきたいと思います。

（川杉 祐太）

＊谷戸学童クラブ＊

〒188-0001
谷戸町 1-22-10
TEL 042-421-1661



《施設だより　学童クラブ編》

ひばりが丘第一学童クラブ

ひばりが丘第一学童クラブには、学校から学童に帰って来ると元気良く「ただいまぁー」と帰って来る子や、学校での疲れからか帰って来てすぐに床に寝ころんでしまう子、その日あった出来事をすぐに「聞いてー！」と職員に話してくれる子など、多くの個性溢れる児童が通っています。

４月には対面式を行い、６月には、父母会さんとの共催行事として交流会を開催しました。

父母会さんからは、『雪だるまをつくろうリレー！』のゲームが用意されました。４ チームに分かれ、福笑いのように顔のパーツを張り付けていき、各チーム個性あふれる雪だるまが完成しました。

学童からは遊び体験ブースが出されました。交流会の機会を利用して、学童で日頃どのように子どもたちが遊んでいるのか、その様子や雰囲気を少しでも知ってもらうこと、また子ども達に、学童で流行ってはいるけれども、普段自分はやっていなかった遊びにも興味を持ってもらえるようなキッカケ作りになることの二つを目的に、遊び体験ブースを企画しました。

後日、連絡帳にはたくさんの反響をいただきました。

・子ども達の普段の遊びが体験でき楽しかったです。
・おうちで早速手作りでマンカラをつくり遊びました。
　などなど…

ひばりが丘第一学童らしい元気いっぱいの交流会になりました。

＊ひばりが丘第一学童クラブについて

今年度ひばりが丘第一学童クラブは児童数 93 名でスタートを切りました。

その児童数から市内一の大規模学童となり、私たち指導員は子ども達の安全を確保するために工夫しながら日々の保育にあたっています。主な取り組みとしては、騒がしい中で指導員の声が聞こえづらい時には、マイクを使用したり、一日指導日などは学年で勉強する場所を分けたり、おやつの時間をずらしたりしています。しかし、少し手がぶつかってしまっただけでも、「〇〇が叩いてきた」とそこからケンカに発展してしまったり、子ども達にとっては普通に会話している声が、大人数になることでとても騒がしい音に聞こえてしまい、「部屋がうるさくて」とこぼす児童がいたりという、大規模学童ならではの課題も見られます。

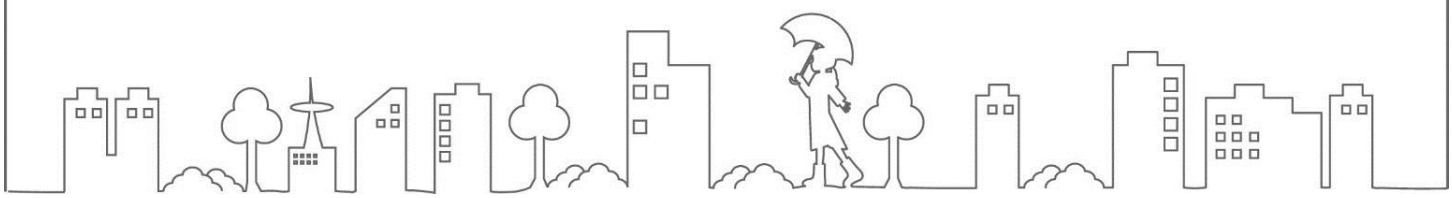
その中で少しでも子ども達の声を聞き、安全で安心できる学童を作っていけるよう、子ども達や保護者の皆様と一緒に考えていきたいと思います。　（大脇 達也）

＊ひばりが丘第一学童クラブ＊

〒202-0001
ひばりが丘 3-1-25
TEL 042-465-9480

＊ひばりが丘第二学童クラブ＊

〒202-0001
ひばりが丘 3-1-25
TEL 042-465-9482



《施設だより　学童クラブ編》

ひばりが丘第二学童クラブ

◆茶話会　～寸劇「子どもが『お留守番』できるようになるには？」

よく晴れた 1 月 17 日の土曜日、ひばりが丘第二学童クラブ育成室にて保護者の方を対象とした茶話会を開催しました。子ども達が普段学童で食べているおやつを試食しながら、子ども達の様子について気軽に話し合いました。まず、一年間の子ども達の様子を映したスライドショーを鑑賞。写真を見て「え～！ こんな事してるんですか」と驚いたり、「面白～い！」と笑ったり、とても和やかな鑑賞となりました。

夏の一日指導日の学習時間の様子。大勢の子ども達が一斉に勉強しています。

その後は「子どもが一人で過ごす時間」というテーマで話すことにしました。施設長が、指導員と共に「子どもが『お留守番』出来るようになるには？」という問いを寸劇形式で投げかけます。ただお留守番をするということではなく、“お留守番出来る力” をつけてもらいたいという考えです。

お留守番が出来るようになるには、子どもの持っている総合的な力が必要になります。時間を見る力、鍵を管理する力、お家のルールを守る力など、様々な力を組み合わせて乗り越えてもらいたいのです。保護者の方々は「鍵を持つ練習をしている」「エアコンを自分で付けて暖まってもらっている」といった意見や、「まだお留守番は怖くてさせられない」「いつかは出来るようになって欲しい」といった意見を思い思いに語っていました。

年末の「子ども忘年会」の様子。ジュースで乾杯しました。

子ども達は学童に来ることで、お父さんやお母さんの生活を支えています。子どもは家族を支える生活者の一人なのです。そんな生活者である子ども達の自立を促し、家族を支える生活力を身に付けてもらうことが、私達の大切にするところであり、想いでもあります。最初は上手く出来なくても、「鍵をなくしちゃった～」と失敗しても、強く叱らず一緒に悩み、支えていきたいです。怒ってしまうことがあっても、いつか「そんな失敗もあったね」と笑って話す日がきっと来るでしょう。

「ハロウィン仮装コンテスト」の準備風景。子ども達は季節の行事も楽しんでいます。

◆ひばりが丘第二学童クラブについて

現在、ひばりが丘第二学童クラブは在籍数 92 名です。定員 70 名の広い育成室を持つ施設ですが、登所児童数が多いときには、マイクを使用しないと声が通らないほど賑やかです。私達指導員は、そんな大家族のような子ども達には遊びを通じて、仲間を思うことや大切にすることを学んでもらいたいと考えます。子ども達にとって、班活動の中で誕生日会のメッセージを書いたり、誕生日をお祝いすることは、お互いを知る良い機会になっています。

カンゴマを上手に出来る子どもが、下級生に教えてあげる場面など、学童クラブらしい光景もたくさん見られます。

（村中 生恵・長﨑 いずみ）

＜新職員の紹介＞

昨年 12 月に、ひばりが丘児童センターに新しく職員として入られた牧さんです。
一度、ぜひ会いに来てください。

12 月 16 日からひばりが丘児童センターに配属された牧麻衣子です。
皆からは「マッキー」と呼ばれています。
好きな事は、食べることです。
子ども達と楽しい時間が過ごせるように精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

アミーゴの活動を支えてください！

子どもアミーゴ西東京は、今年で設立から９年目を迎えています。活動や事業の土台となる財政基盤の確保のため日夜努力をしていますが、その収入のほとんどを市からの委託金で賄っているのも現状です。地域のすべての子どもたちのために、という大きな目標に向かい活動を継続していくには、皆さんからのご支援がこれからも欠かせません。
どうか、今後ともご支援いただきますよう、お願いいたします。

【支援方法】

1）ボランティアとして活動に関わる

私たちがおこなうイベントや活動に、ボランティアとして関わってください。

2）会員になる

私たちの活動や考えに賛同いただけたら、会員になってください。会費は年 3000 円です。イベントのお知らせや「アミーゴ通信」などをお送りいたします。

3）寄付をする

直接的な活動への関わりはできなくても、共感や応援の気持ちを「寄付」という形で表していただけるだけでも、私たちには大きな力となります。

振込先：郵便振替：記号番号　00130-0-55814
三菱東京 UFJ 銀行　東松原特別出張所（319）口座番号：3743180
口座名義：特定非営利活動法人　子どもアミーゴ西東京

☆詳しくは、事務局までお問い合わせください。→TEL 042-478-0056　メール info@kodomoamigo.org

アミーゴ通信
2015 年3月　梅蕾号
発行日：2015 年 3 月＝日
発行者：永井昌史
住　所：西東京市西原町 1-5-13
電　話：042-478-0056
e-mail：info@kodomoamigo.org